

栃木農試これまでのあゆみ

〈農業試験場ニュース発行開始以前の主なできごと〉

- 明治28年 栃木県立農事試験場（現栃木県農業試験場）発足
- 大正6年 ビール大麦生産量 日本一
- 昭和43年 いちご生産量 日本一
- 昭和60年 女峰 品種登録

年度
62 栃木県農業振興計画
63 元 2
3
4 ときぎ新農業プラン
5
6
7
8 首都圏農業推進プラン
9
10
11
12
13 首都圏農業推進計画21
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23 ときぎ農業成長プラン
24
25
26
27
28 “と進化ち”
29
30 躍ぎ農
元 2 業

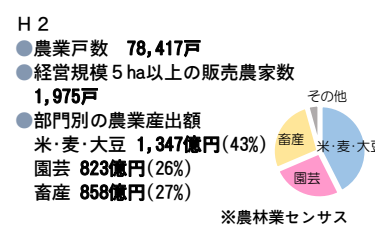
【基本方向(施策の体系)】
1 生産性の高い農業の確立
2 地域に根ざした農業生産の振興
3 農産物の安定供給体制の整備
4 活力ある豊かなむらづくり

★農業試験場「月報」(現農業試験場ニュース)発行開始 ★水稻世代促進温室 整備



昭和62年6月から毎月発行しています!

●水稻作況指数初の日本一



【基本方向】
1 米麦、園芸、畜産の3部門のバランスのとれた生産構造の実現を目指す「首都圏農業の確立」
2 活気とゆとりのある農村の形成

●ときぎ花センターオープン
●UR交渉妥結、MA米受入 ●米の大幅作、タイ米を緊急輸入

★トマト次世代型土耕栽培施設 整備

【基本目標】
国際化に対応した首都圏農業の確立

★野菜硬質フィルム温室、果樹ボックス生産システム 整備 ★とちおとめ・つつこり 品種登録
★炭そ病防除効果を示す新規微生物 特許出願
★花き温室 整備 ★集落排水汚泥の肥料作成システム 特許出願

★とちひめ 品種登録



屋根はいちごをイメージした赤色です!

【基本目標】
1 地域が輝く首都圏農業の確立
2 食と農の理解推進

★いちご品種識別用プライマーセット及びこれを用いたいちご品種識別方法 特許出願

【基本目標】
1 創意工夫と意欲に富んだ農業
2 活力ある美しい農村の創造
3 健康的で豊かな食の提供

★なすひかり 品種登録
★いちご研究所設立 ●リーマンショック
★サチホゴールデン 品種登録
★なつおとめ 品種登録 ●東日本大震災

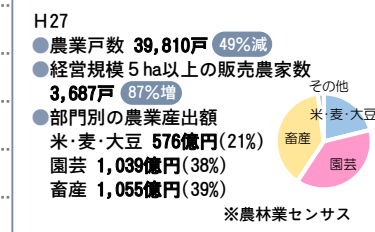


平成23年12月に完成記念式典が行われました!

★本館完成 ★生産物の放射性物質モニタリング調査開始

【基本目標】
成長産業として発展する農業の実現に向けて、農業の新たな魅力と価値を創造する、「進化する農業・栃木」を推進

★栃木芳香1号・2号・とちのいぶき・アスカゴールデン 品種登録
★栃木i27号(スカイベリー) 品種登録
★とちぎの星・きらきら星 品種登録
★ゆめみどり 品種登録



【基本目標】
成長産業として進化する農業・栃木

★麦世代促進・特性検定温室 整備 ★夢ささら・もち絹香 品種登録出願公表
★栃木r2号・r3号(るりおとめ 月あかり・るりおとめ 星あかり) 品種登録
★トマト次世代型養液栽培・育苗施設、果樹クローン苗実験施設 整備 ★ニューサチホゴールデン 品種登録
★栃木i37号(とちあいか)・栃木iW1号(ミルキーベリー)・パラソルロマン 品種登録出願公表 ●TPP・EPA発効
★エンジェルリング・プリンセスリング 品種登録出願公表
●とちぎの星が大嘗祭に供納
●とちあいか名称決定 ●新型コロナウイルス(COVID-19)の流行